

1 生徒の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

R4入学 現3年生	国語			数学		
	1年時	2年時	3年時	1年時	2年時	3年時
	県 (12月)	県 (4月)	全国 (4月)	県 (12月)	県 (4月)	全国 (4月)
	54.2%	54.3%	53.0%	50.4%	44.2%	44.0%
	(0.95)	(0.91)	(0.96)	(0.90)	(0.88)	(0.92)
R6正答率の全国比			0.91			0.84

◎1・2年時は佐賀県学習状況調査、3年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。

◎「令和6年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

- ・国語、数学ともに令和6年度の全国学習状況調査では、本校の平均正答率と県平均との差が縮まっている。
- ・国語において「書くこと・読むこと」の正答率が上昇している。
- ・国語、数学のどちらも記述式の解答の正答率が低い。また、『思考・判断・表現』の正答率が平均を下回っているため、身につけた知識を活用して考える力が不足している。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

- ・授業の始めに、前回の学習内容を確認したり、小テストを実施したり、授業の最後に授業全体の振り返りをしたりすることで、知識・技能の定着を図る。
- ・授業の中に、生徒自身が一人もしくはグループで、深く考える時間や機会を設定することで、知識・技能を活用し、思考・判断・表現の活動へとつなげるきっかけとする。
- ・授業のルールや、決まりを学校全体で改めて確認し、徹底させることで授業規律の向上を図る。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- ・週4日の「学習タイム」を設定し、家庭で取り組む自主学習ノートでの学習につなげることで、家庭学習の習慣付けだけでなく、基礎学力の定着を図る。
- ・毎週金曜日の朝に「読み取りタイム」を設定し、認知教科トレーニングや読解力に特化した問題に取り組むことで、知識・技能だけでなく思考・判断・表現の力を強化する。